

令和4年度事業報告書

社会福祉法人
富津市社会福祉協議会

1 法人全体としての取り組み

令和4年度の当法人の活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大に予断を許さない状況の中、事業・組織ともに大きな影響を受け、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症に関連した特例の貸付や給付金制度など、今まで以上に市民からの相談件数も増え、内容も複雑多岐にわたるものとなりました。

また、新たに感染者及び濃厚接触者に対する支援として、市と協力し食糧支援を行い、その活動は年度末まで絶えることなく相談があり、夏時期には最高で1か月約40件、人数にして130人以上の支援を行いました。

法人本部の事業としても、感染予防や、施設入場者数制限などの観点から、予防対応策の模索をする1年となり、社会福祉大会や福祉バザー等の大きな行事の中止や各事業の縮小を余儀なくされ、地域における事業推進がなかなか進めることのできないもどかしさを感じる1年となりました。

このような背景の中で、社会福祉協議会は地域福祉推進の担い手として令和4年度事業計画に基づき、行政をはじめ民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会の皆様と連携し、地域の皆様がともに安心して暮らせる地域づくりを目指し、以下の取り組みをしてまいりました。

1. 法人の組織運営の見直しの一環として昨年に引き続き各事業における規程・要綱の見直しや改廃を行い、現在の当法人に即した対応ができるよう検討しました。
2. 職員体制の充実を図るため、職員増加に関する要望書を市に提出し、今後の協議に向けた資料の準備や確認をしました。
3. 災害時における支援体制の在り方について、令和3年度より協議を進めていた、富津市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を令和4年4月1日付で締結しました。
4. 新型コロナウイルス感染症罹患者のための食糧支援を本格的に始動し、県のフードバンクや富津市と協力しながら外出ができない罹患者及び濃厚接触者世帯に必要な最低限の食糧を配達すると同時に、近隣市町村で行われていた業務契約締結（委託費及び職員の増員）について富津市と協議しました。
5. 生活困窮者自立支援事業においては、引き続き派遣職員を配置し、新型コロナウイルス感染症に関する特例貸付事業との連携や自立支援のための相談支援、家計支援を行いました。

また、生活困窮者や離職を余儀なくされた相談者の中には外国人の方も多く、就労支援を行うに際し、ハローワークへの同行や履歴書等の作成支援も行ってきました。

被保護者就労支援に関しましては、生活保護世帯で就労のできる年齢層の方を中心に相談支援員が訪問し、根気よく情報提供や就労に対する支援を行いました。

6. 大佐和地区地域包括支援センターにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響で、通所型のサービスがままならない中、地域における高齢者の相談窓口として介護に関する相談や虐待案件への対応だけでなく、介護事業所との連携やケアマネジャー支援など、地域に暮らす高齢者が元気に安心して生活できるよう事業展開を行いました。

7. 後見支援センター事業は年々需要が増える中で、現在は8件の成年後見人を受任し被後見人の皆様が不利益を被ることがないように、人権を保護しながらその人らしく暮らせるように支援しており、その業務内容は多岐にわたっております。

また、令和4年度は被後見人の死亡により、死後委任事務や財産の親族引き渡しなどの業務も行いました。

このように、新型コロナウイルス感染症の収束しない状況の中での事業展開であったことに加え、組織においても休職者や離職者が続き、どの部署共に慢性的な職員不足という問題を抱える状況であり、内部人事の異動を行ったりしながら事業を滞らせないように努めてまいりましたが、実際には事業を停滞させてしまった部分もあり、令和5年度への課題となってしまいました。

この反省点をしっかりと意識し、令和5年度においては、令和4年度にできなかった部分を含めすべての事業において見直しや修正を行いながら、丁寧に事業展開を行い、引き続き地域福祉の推進に邁進していきたいと思っております。

【重点事項における実績】

1 社会福祉協議会の目標に即した事業展開および強化

1 地域福祉事業の発展強化

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による市民の不安を総合的に支援し、特例の貸付や食糧支援等を行い、安心して生活できる地域づくりを目指しました。
- (2) 民生委員協議会や、高齢者・障がい者団体等の関係機関と連携をし、地域における要支援者の把握や支援内容を共有し一丸となって支援できる仕組みづくりに努めました。
- (3) 富津市や地区社会福祉協議会と連携し、地域で安心して暮らしていけるまちづくりを目指し、令和4年度は、災害時における各機関の役割等の講演を行いました。

2 高齢者・障がい者福祉事業の推進

- (1) 要支援者を対象とした安否確認サービスを充実させ、必要に応じて社協職員・地域包括支援センター職員と一緒に訪問をする等、緊急対応を行いました。
- (2) 「富津市大佐和地区地域包括支援センター」受託により、高齢者の健康増進と介護保険等の相談支援を行いました。
- (3) 「ふっつ後見支援センター」では、成年後見制度に関する様々な相談支援や、裁判所・後見監督人との連携による死後委任事務等を行いました。
- (4) 「交通手段支援事業」による、高齢者の買い物・通院支援を行い交通弱者への支援を行いました。

3 ボランティア活動の推進

- (1) ボランティアの登録や派遣申請など、ボランティアに対する相談支援を行いました。
- (2) ボランティア連絡協議会と連携し、広報紙などで、ボランティアの周知・啓蒙を図りました。
- (3) 災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定を富津市と締結しました。
- (4) 災害時にスムーズにボランティアセンターを運営するため、行政と協議するだけでなく、地域に出向き、災害ボランティアセンターの役割や、ボランティア活動について広報啓発を行いました。
- (5) フードバンクと連携し、生活困窮者のみならず、新型コロナウイルス感染症罹患者の食糧支援を行いました。また、エコキャップの収集について広報啓発することにより、一般市民・学校・企業等から多くの賛同を頂き、3月末には累計個数 2,707,237 個のエコキャップを提供することができました。

4 福祉教育の推進

- (1) 各学年（小中学校、高校）・一般市民等、学校における福祉教育だけでなく、生涯学習としての福祉教育の推進を図ることを目的としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校における体験学習が無かった為、実績はありません。

5 子育て支援事業の推進

- (1) 市役所子育て支援課と連携し、チャイルドシートの貸出しを行いました。
- (2) 「子ども食堂」の後方支援として、食材等の配分や各種助成申請書への推薦書作成等を行ってきました。

6 広報・啓発活動の強化

- (1) ホームページの全面見直しを図り、見やすい・情報を探しやすい環境に整備しました。
- (2) 「会費」「愛の募金」「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」の趣旨や用途について情報を公開するとともに、社協事業について地域住民からの理解と協力を頂けるよう広報誌「福祉ふっつ」を年に2回発行、毎戸に配布しました。

7 相談・援助事業の強化

- (1) 福祉なんでも相談にて、相談者を取り巻く悩みについて総合的に対応し、社協だけでは対応できない部分においては関係機関と連携し、相談者の早期解決につながるよう支援しました。
- (2) 一時的な生活困窮者に対し、各種の福祉資金貸付に関する相談や家計の支援を行い、市社協の緊急小口資金や県社協の貸付金の申請支援を行いました。
- (3) コロナ禍における生活困窮者世帯への特例貸付等、時事情勢において緊急的支援が必要な方に対し、県社協と連携しながら迅速に対応し生活の安定が図れるよう支援しました。
- (4) 「富津市生活困窮者自立相談支援事業」及び「富津市被保護者就労支援事業」において、生活困窮者及び生活保護者が自立した生活を送れるように支援しました。
- (5) 「富津市大佐和地区地域包括支援センター」においては、高齢者の介護予防と権利擁護、健康維持のための事業を展開し、地域の高齢者が安心して生活できる仕組みづくりに努めました。

2 社会福祉協議会発展・強化のための基盤整備の推進

組織体制や経営基盤を整備・強化する為に、安定した財源確保を目指し、関係機関との協議を勧めながら連携していけるよう、中長期計画の策定に向けて準備を整えてきました。

1 各種計画の検討・作成

- (1) 組織体制における中長期計画の策定
慢性的な人員不足について、近隣市町村の状況の確認を行うとともに、市役所所轄部署に対する要望書の提出を行い、職員増員に対して働きかけました。
- (2) 地域福祉活動計画の策定
行政の地域福祉計画に合わせて地域福祉活動計画を策定できるよう、行政の状況を確認しながら、準備を進めていきました。
- (3) 岩瀬事務所の調査を進めることができなかった為、令和5年度の課題とし継続的に進めていきたいと思えます。

2 財源確保の推進

- (1) 事業運営に対する財源確保の為、社協事業の広報啓発を行うとともに、新規法人会員等の加入を企業等へ働きかけました。
- (2) 自己財源の収入増を図る為、補助金事業や受託事業の協議を行い、県社協より、生活福祉資金債権管理強化推進事業を受託しました。

3 組織体制の充実

- (1) 多様なニーズに対応できるよう、正規職員の増員に対して市に要望書を提出し、社協の人員と業務の適正化について理解を求めました。
また、県社協や近隣市町村社協の運営状況などを調査し、今後行政と協議するための情報の収集を行いました。
- (2) 定款・規程・要綱に見直しを行い、各々の職員の役割や責任を再度認識したうえで、業務が遂行できるよう努めました。
- (3) 休職による人員減の部署に対し、職員配置の変更や業務分担の変更を行いながら、事業が滞らないように努めました。
令和5年に社会福祉士等の資格保持者・福祉専門職経験者等、即戦力となる人員を採用できるよう、職員の募集を行いました。

4 職員の資質向上と研修体制の確立

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参集型の研修は少なく、ZOOMでの参加型研修が多かった為、日程の調整できる研修に参加するようにしました。
また、各々の資格の更新研修にも積極的に参加できる体制づくりに努めました。

5 各関係機関との協力体制の強化

- (1) 必要に応じて行政や高齢者・障がい者等の関係機関と連携し、総合的な支援体制の構築に努めました。
- (2) 災害時の役割を明確化するため、行政と合同の会議・研修会に参加し、非常時における体制の構築を図りました。

6 法人における苦情解決体制の充実

- (1) 各部署に苦情解決のための体制を整備し、苦情受付者・苦情解決責任者を配置しました。
- (2) 第三者委員の再設置に向けて、委員の選出の準備を行いました。

2 定例会議・月別事業報告

1 定例会議及び事業

<会議>

	事業内容	場所等
民生委員児童委員定例会議	毎月1回地区別にて会議。年に数回全体会議	市役所 他
在宅ケアサービス会議	毎月1回。支援者の情報共有、事例検討 等	市役所

<事業>

	事業内容	場所等
総合相談	弁護士による法律相談・職員による福祉なんでも相談	市役所
音訳テープ発行	県民だより(草笛会)・広報ふつつ(いさり火の会)	市役所
事務局情報発行	各月の事業計画について関係機関に送付	
交通手段支援事業	一人暮らし高齢者等の通院・買物支援事業	

* その他各事業については事業計画に基づきその都度実施

2 月別会議・事業(理事会・監査会・評議員会の内容は別紙役員会議報告のとおり)

	事業内容	場所等
<4月事業> 社会福祉協議会会費依頼	市内全戸・法人等に依頼	市内
<5月会議> 理事会 民生児童委員監査会議・役員会議 3地区民生児童委員総会 ボランティア連絡協議会総会 愛の募金(一円玉募金)推進委員会 富津市地区社会福祉協議会連絡協議会	令和3年度事業報告・決算監査 愛の募金(一円玉募金)実施について 補助金・委託金説明・事業計画・報告 等	市役所 市役所 市役所 市役所 市役所 市役所
<6月会議> 監査会 理事会 評議員選任解任委員会 評議員会		市役所 市役所 市役所 市役所
<7月会議> 民生児童委員役員会議		市役所
<7月事業> 愛の募金期間	各世帯に依頼	市内全域
<8月事業> 愛の募金回収期間 福祉ふつつ第96号発行	地区社会福祉協議会にて回収・集計開始	市内世帯
<9月会議> 民生児童委員役員会議		市役所
<10月会議> 理事会 <10月事業> 福祉バザー	中止	市役所

<11月会議> 民生児童委員役員会議	定例会議	市役所
<12月会議> 理事会 臨時評議員会 <12月事業> 歳末たすけあい募金配分事業	災害備蓄品 他	市役所 書面開催 市内対象団体等
<1月会議> 民生児童委員役員会議 <1月事業> 第42回富津市社会福祉大会	中止	市役所
<2月会議> 理事会	定例会議	市役所
<3月会議> 評議員選任解任委員会 理事会 評議員会 民生児童委員役員会議 <3月事業> 福祉ふっつ第97号発行		市役所 防災センター 防災センター 市役所 市内世帯

令和4年度 富津市社会福祉協議会役員会議報告

令和4年度においても役員会議は市内の新型コロナウイルス感染症罹患者数等を勘案しながら参集及び書面決議にて実施。8月の理事会については、罹患者数と議件内容を確認したうえで中止とした。

会議においては、新型コロナウイルス感染症対策として市に準じた対応（パーティションの設置・体温計、消毒薬の設置・換気）を徹底し、感染予防に努めた。

また、4年度は所轄庁の監査があり、定款について指導があった為、10月理事会にて上程の後、書面にて評議員会を開催。承認を得た後、所轄庁に定款変更の申請を行った。

月	日	会議名	議 題	出席人数
5	25	理事会	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会経理規程の一部改正について	理事11 監事 3
6	3	監査会	1 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 2 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 3 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について	監事 3 理事 1
6	10	理事会	1 令和4年度第1回社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員会会議上程議案について 2 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 3 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 4 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について	理事13 監事 2
6	1	評議員 選任解任 委員会	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員選任について	委員3
6	27	評議員会	1 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会理事の選任について 2 令和3年度 社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業報告について 3 令和3年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算について 4 令和3年度 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会公益事業区分決算について	評議員15 理事 1 監事 3
8	24	理事会	中止	
10	19	理事会	1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会定款の一部変更について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会理事・監事選任規程の一部改正について 3 社会福祉法人富津市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 4 臨時評議員会の開催及び上程議案について 5 第42回富津市社会福祉大会の開催について 6 歳末たすけあい募金配分事業について	理事12 監事 3
12	16	理事会	1 令和4年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分第1回補正予算の専決 処分の同意について 2 第42回富津市社会福祉大会及び表彰について 3 臨時評議員会の書面開催について	理事11 監事 2

12	26	臨時評議員会 (書面)	<ul style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会定款の一部変更について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会理事・監事選任規程の一部改正について 3 社会福祉法人富津市社会福祉協議会理事の選任について 	評議員18
2	21	理事会	<ul style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会富津市生活困窮者自立相談支援事業及び富津市被保護者就労支援事業臨時的職員給与規程の一部改正について 2 社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分第1回補正予算について 3 社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 4 新年度事業について 	理事14 監事3
3	15	評議員選任解任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人富津市社会福祉協議会評議員選任について 	委員3
3	22	理事会	<ul style="list-style-type: none"> 1 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業計画について 2 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分予算について 3 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分予算について 4 令和4年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会第2回評議員会の開催及び上程議案について 	理事15 監事3
3	29	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 1 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会事業計画について 2 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会社会福祉事業区分予算について 3 令和5年度社会福祉法人富津市社会福祉協議会公益事業区分予算について 	評議員16 理事1

3 各事業別の事業実績

(1) 車椅子・歩行器貸与事業

車椅子・歩行器は1週間以内であれば無料、それ以降1か月につき500円で貸出。

個人貸与の傾向としては、1週間以内の利用者は通院や旅行、長期利用者は介護保険サービスでの利用が対象とならない方や骨折等の理由が大半を占めている。

行事貸与の傾向としては、今までは福祉教育体験の為の貸出が多かったが、令和4年度は選挙時の投票所への貸出しや、新型コロナウイルス感染症予防ワクチンの接種会場への貸出しがあった為、大幅な利用増であった。

<個人車椅子貸与台数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R3計
減免有	1	6	3	0	1	5	2	3	5	2	5	6	39	24
減免無	8	7	11	8	5	5	4	7	5	3	6	5	74	59

<行事車椅子貸与台数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R3計
貸与数	0	0	0	21	0	0	14	0	0	0	0	0	35	126

<歩行器貸与台数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R3計
貸与数	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	5	0

(2) 福祉緊急電話設置事業

福祉緊急電話は設置時に10,000円の費用を本人が負担。

設置に関する相談は本人のみならず、ケアマネジャー等の支援者からの相談も増加。

廃棄は、本人死亡・施設入所等が主な理由である為、撤去方法についての問い合わせが多く、中には本体紛失に関する相談もある状況。

今後も設置業者との連携を取りながら状況に応じた対応ができるよう努めていきたい。

<過去5年の設置・廃止状況>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規設置数	22	17	29	20	20
廃棄数	35	27	71	30	22
現在の設置数	298	288	246	236	234

(3) シルバーテレホン友愛サービス事業

一人暮らし高齢者の安否確認を目的とした毎日型の電話訪問サービス。

現在は7名の利用者に対してボランティア6名が対応している。

事業開始当初の平成5年には約20名の利用者に対し4団体20名近くのボランティアが日替わりで活動していたが、現在は介護保険サービスの利用も浸透してきていることもあり、利用者の多くが毎日型ではなく、サービス利用日以外の安否確認の為に利用している。

また不在時や緊急時は、民生委員やケアマネジャーとの連携で迅速な対応ができています。

現在の課題としては、ボランティアの稼働調整が困難であるため、月に数日職員を動員していることがあげられる。

今後もボランティア募集を含め、広報啓発に努めていく必要性がある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問件数	80	104	113	104	118	101	105	105	96	78	81	95	1,180
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア数	6	7	9	7	8	7	7	7	6	6	6	6	82
活動延べ数	20	18	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	242

(4) ボランティア活動促進事業

コロナ禍におけるボランティア活動は、福祉施設・活動施設（公民館等）の入場制限もあり令和3年同様派遣依頼に関する実績はなかった。

また、状況をみながら地域で自主的に活動されているボランティア団体については、ボランティア活動保険の相談や様々な財団が行っている助成金の推薦文作成依頼などがあった。

ボランティア連絡協議会や各団体と連携しながら、情報の収集や相談支援を行い、活動促進に努めてきた。

また、富津市と災害時における災害ボランティアセンター設置等、体制整備に関する協定を令和4年4月1日付で行い、災害時における社協の位置づけを明確化させた。

(5) 買い物支援事業・交通手段支援事業

地区社会福祉協議会で取りまとめを行い年に数回実施している買い物支援事業については、新型コロナウイルス感染予防の為に令和4年度においても事業そのものを中止とした。

また、車両の老朽化による廃車に伴い、今後の事業展開について検討。車両の稼働状況も踏まえ、買い物支援事業は令和5年度より廃止の方向とした。

非課税世帯で外出の為に手段のない高齢者を対象にした交通手段支援事業は、ボランティアの協力を得ながら1人当たり月2回までを限度に実施。広報に掲載する等の周知により、利用の相談件数も増加し、昨年より利用件数も伸びてきている。

今後は、担い手であるボランティアの募集も検討していく予定である。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
稼働日数	5	3	5	4	6	4	3	5	5	7	6	7	60
買い物利用	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	22
通院利用	3	1	3	2	4	3	2	3	3	5	4	5	38
ボランティア	5	3	5	4	6	4	3	5	5	7	6	7	60

*ボランティアの人数には職員を含む。

(6) 福祉カー貸出事業

市内の福祉団体や市民を対象に、移動支援を目的としてハイエース・フリードを貸出。フリードは車いす対応。

貸出時の主な利用目的は、通院・転院・行事参加・研修参加等多岐にわたっている。

ハイエースについては、老朽化等により使用不能の状態になってしまった為、7月以降貸出しを中止している。

<フリード貸出件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R3計
件数	3	6	3	5	4	4	4	4	6	5	7	11	62	29
日数	3	6	3	5	4	4	4	4	6	5	7	11	62	35

<ハイエース貸出件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	R3計
件数	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	29
日数	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	35

(7) 富津市社会福祉大会・福祉バザー

令和3年度に続き、富津市社会福祉大会と、福祉バザーは、感染予防及び公民館・総合社会体育館の入場者数に制限があった為中止となった。

社会福祉大会における被表彰者及び被感謝状贈呈者については、後日会長と職員が訪問し授与し、記念写真を撮影、3月発行の福祉ふっつに掲載した。

また、福祉バザーについては、他の開催方法の検討も行う中でイオン富津セントラルコートの活用についても、イオンモール富津担当職員と協議した。

令和5年度においては、コロナウイルス感染症が第5類に変更されたことも鑑みつつ、状況に応じた開催を行う予定で検討している。

(8) 福祉ふっつ発行・ホームページの運営

広報「福祉ふっつ」は年2回（8月・3月）発行し、毎戸に配布。

ホームページについては、リニューアル後トピックスを中心に、情報の発信に努めた。

来年度以降は、定期的なホームページ内容の見直しを中心にさらにわかりやすい広報啓発の方法について検討していきたい。

(9) 福祉教育推進事業

令和3年度に引き続き実績は0であったが、今後は施設等への福祉機器の貸出しを含め、学校関係にとどまらず、生涯学習としての福祉教育についても企画していきたい。

(10) 総合相談事業

専門職（弁護士）による無料法律相談と社協職員による福祉に関する何でも相談を開設し、日常生活のあらゆる相談に対し解決のための支援を行った。無料法律相談は予約制であるが、毎回定員（1日6名）に達し、多い時には次月の予約も埋まる状況である。

また、社協職員による福祉に関する何でも相談の内容は多岐にわたり、必要に応じて各関係機関につないでいる。

<法律相談実績>

月	開設日数	予 約 受付数	相談数		予約時の相談内容						
			実 績	キャンセル	1	2	3	4	5	6	7
4	2	10	9	1	5	2	0	0	0	1	1
5	2	14	12	2	3	1	2	0	1	2	4
6	2	12	11	1	3	2	0	1	1	4	2
7	2	15	12	3	3	3	0	0	0	3	4
8	2	11	11	0	3	1	0	0	1	2	4
9	2	13	11	2	2	3	2	1	0	2	2
10	2	10	10	0	1	1	0	0	1	4	3
11	2	13	12	1	3	2	0	1	0	1	5
12	2	16	11	5	4	0	1	0	1	2	3
1	2	11	8	3	4	1	1	3	0	1	0
2	2	14	12	2	5	1	2	0	0	2	2
3	2	12	11	1	1	1	1	1	1	2	5
計	24	151	130	21	37	18	9	7	6	26	35
R3	24	168	135	33	33	23	13	4	9	30	27

*相談内容の番号… 1.相続 2.土地 3.離婚 4.家族 5.近隣 6.金銭 7.その他

<内容別内訳>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生 計	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
職業・生業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
住 宅	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	4
家 族	0	1	1	2	1	1	0	1	0	1	0	2	10
結 婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
離 婚	0	2	1	2	0	2	0	0	1	1	2	1	12
人権・法律	0	1	4	0	0	0	1	1	1	0	0	0	8
財 産	8	10	6	9	7	8	7	8	6	7	9	7	92
事 故	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	4
教育・青少年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心身障がい児者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦 情	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
そ の 他	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	2	7
合 計	9	14	12	16	11	12	10	12	11	10	12	15	144
R3	13	11	14	12	9	12	9	12	12	12	13	12	141

(11) 歳末たすけあい募金配分事業

共同募金会事業である歳末たすけあい募金で集まった財源を、各種事業に配分。

令和4年度は、地区社会福祉協議会・福祉団体への助成及び、地区社会福祉協議会に対し、災害時の備蓄物資を購入し配分した。

<配分内訳>

災害時備蓄保存食セット				
対 象	富津地区	大佐和地区	天羽地区	合 計
地区社協分	654,356 円	757,664 円	1,157,740 円	2,569,760 円
配分経費	① 各地区への通信運搬費 1,850 円		1,850 円	3,610 円
	② 振込手数料 1,760 円		1,760 円	
市社協分	① 災害支援物資（備蓄食料） 627,696 円		627,696 円	682,825 円
	② 災害支援物資（資材等） 55,129 円		55,129 円	
災害支援物資合計				3,256,195 円
福祉団体	6 団体			210,000 円
給食サービス委託費	935 食分			1,892,000 円
総 合 計				5,358,195 円

*給食サービス委託費は各地区社会福祉協議会に年 4 回分を配分。不足分は各地区社協財源にて実施。@500 円×人数+2,000（1 人分の予備）

<福祉団体配分内訳>

No.	団体名	代表者	金額
1	富津市手をつなぐ育成会	渡辺明美	40,000 円
2	富津市子供会育成連絡協議会	能城多裕	50,000 円
3	富津市あゆみの会	長谷川初子	50,000 円
4	富津市ろうあ協会	三辻康一	20,000 円
5	かいじゅうクラブ富津	小坂真紀	20,000 円
6	富津市手話サークル「コスモス会」	武次喜代子	30,000 円
	団体配分合計		210,000 円

(12) 苦情解決

社会福祉事業者は提供する福祉サービスについて、利用者からの苦情（要望）を受け止め、適切な解決に努めなければならないため、受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員を定め安心してサービスを受けられようにする必要がある。

当法人においても部署ごとに上記職員を配置し、サービスに関する要望や苦情に対応できる仕組みを整備している。

また、第三者委員には中立・公正な立場の方を依頼し、社会性・客観性を確保したうえで利用者の立場や特性に応じた適切な対応を行えるようにしている。

第三者委員については、来年度以降新たな委員を委嘱する予定である。

令和4年度についても、市民より様々なご意見や要望等があったものの、苦情解決の仕組みを使用し解決しなければならない案件はなかった。

今後も市民や利用者へ寄り添いながら、適切な事業展開ができるよう努力していく。

(13) 貸付金事業・法外援護事業

千葉県社会福祉協議会委託事業である生活福祉資金貸付事業と、富津市社会福祉協議会単独事業である社会福祉金庫貸付事業があり、現在は新型コロナウイルス感染症の影響で離職や収入減となった人を対象に貸付を行う緊急小口資金等特例貸付に関する相談が増加している。また、生活困窮者が生活保護を受給するまでの支援としての緊急小口貸付や食糧支援など貸付のみならず総合的に相談支援をするケースも増加している傾向である為、フードバンクや関係機関と連携し継続的に支援をしていきたい。

<貸付事業実績>

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総計		34	41	40	53	49	76	47	60	28	60	44	61	593
内訳	来所	24	23	24	25	28	33	24	25	13	25	16	25	285
	電話	10	18	16	28	21	43	23	35	15	35	28	36	308
①緊急小口資金		2	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	1	9
②一般福祉費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③教育支援費		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
④介護費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤障害自動車購入費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥住宅改修費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
⑦療養費		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑧不動産担保型資金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨// (要保護世帯向け)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩社会福祉金庫資金		0	0	1	1	3	1	2	2	0	2	0	3	15
⑪市社協緊急小口資金		1	4	0	4	3	2	2	1	1	3	3	2	26
⑫緊急小口資金		1	1	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	9
⑬総合支援資金		1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
⑭総合支援資金 (再貸付)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

①～⑨県社協受託事業 ⑩⑪市社協単独事業 ⑫⑬⑭緊急小口資金等特例貸付 (県社協)

<社会福祉金庫資金貸付>

項目	件数	金額
福祉金庫資金貸付	15	565,000円
償還件数	13	415,000円
市社協緊急小口資金	26	255,000円
償還件数	23	320,000円

<貸付予算額> 1,000,000円

貸付額 820,000円

残額 180,000円

<令和4年度法外援護金実績>

所持金のない帰宅困難者に対し交通費(500円)を支給。

令和4年度は0件。

(14) 在宅ケアサービス事業

高齢者・障がい者世帯等を対象に、制度内でのサービスでは賄いきれない訪問介護サービスを必要とされている方に対してヘルパーを派遣。

現在は利用会員数・協力会員数共に減少傾向であり、今後の事業展開については検討していく必要がある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者人数	5	5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	48
活動日数	27	27	32	25	13	26	21	22	22	10	14	16	255
総時間数	27	27	32	25	13	26	21	22	22	10	14	16	255
世帯形態別日数													
障がい者世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
延べ時間	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
その他の世帯	27	27	32	25	13	26	21	22	21	9	13	15	251
延べ時間	27	27	32	25	13	26	21	22	21	9	13	15	251
介護形態割合 (%)													
生活援助	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
身体介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(15) 介護保険事業

介護保険法に基づき、相談・ケアプランの作成、保険請求を行うとともに、介護保険認定審査会及び訪問調査員として認定審査や訪問調査を行い、自主財源確保に努めてきた。

しかしながら、専任職員を配置することは困難であり、兼任職員2名体制での事業展開の為、利用者を増員することは困難である。今後は専任職員の配置も検討していく必要がある。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護支援	15	14	15	15	15	15	14	13	13	11	10	10	160
介護予防支援	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16
訪問調査	3	4	4	1	3	2	1	1	2	2	1	1	25
認定審査	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(16) ふっつ成年後見支援センター事業

成年後見制度に関する相談も年々増加している中で、すでに後見人を受任している被後見人の入院や施設入所に関する手続きなど、金銭管理業務にとどまらない後見人業務も増加してきている。

令和5年度以降は、行政と協議しながら中核機関の受託や市民後見人の育成も視野に入れ、受託金や補助金を活用した財源確保をしながら、職員の増員ができるように後見支援センター事業の活発化を図りたい。

<相談及び受任者数>

(単位；件)

	高齢者	障がい者	その他	計
新規相談件数	28	0	0	28
新規受任者数	0	0	0	0
今までの受任者数	15	2	0	17
うち死亡者数	9	0	0	9
現在の受任者数	6	2	0	8
任意後見契約数	3	0	0	3

<類型別人数> (単位；件)

	現在数	延べ数
後見類型	8	16
補佐類型	0	0
補助類型	0	1
計	8	17

<相談経路>

(単位；件)

本人	6
親族	9
担当ケアマネ	4
医療機関	5
行政職員	4

<相談内容と対応>

(単位；件)

成年後見制度について	13	訪問や面談にて制度の説明
財産管理について	13	日常生活自立支援事業の説明。判断能力が低下している等、状況に応じて成年後見制度についても説明

(17) 日常生活自立支援事業

判断能力に不安のある方の自立した地域生活を支援するため、福祉サービスの利用手続きの相談を受けたり、預貯金の出し入れの代行、重要書類の保管などを行っている。

現在は高齢者と知的障がい者の利用者が半数以上を占めており、市役所生活保護担当部署や相談支援機関からの相談が増加してきている。

今後は生活支援員の増員を目指し広報啓発を行うことが重要である。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談・訪問調査等延べ回数													
高齢者	9	7	12	8	11	10	15	12	5	11	9	10	119
知的障がい者	4	3	3	3	3	4	3	3	3	1	3	4	37
精神障がい者	3	1	2	2	4	3	5	3	2	3	2	4	34
その他	0	1	2	0	1	0	2	1	0	1	1	0	9
合計	16	12	19	13	19	17	25	19	10	16	15	18	199
上記のうち訪問調査のみ													
実人数	10	10	13	10	13	12	14	13	8	13	12	11	139
延べ回数	16	12	19	13	19	16	25	19	10	16	16	18	199
継続中の実人数	24	24	24	24	24	23	23	22	22	22	21	21	274

(18) 富津市大佐和地区地域包括支援センター受託事業

令和4年度はプロポーザルを行い、次期3年間の業務委託契約を締結。

地域包括支援センター業務の入り口となる総合相談は476件であった。総合相談の内容としては介護保険関係が全体の58%と半数以上を占めていた。地域包括支援センターに設置されている3職種(看護師・主任介護支援専門員・社会福祉士)で検討を行い、関係機関と連携を図り課題解決に向けて取り組んできた。

総合相談の「その他」は194件と多く、多種多様な相談があったが特に精神に障害を抱えている方の支援は難題であり関係機関との連携が必要不可欠であった。他には介護保険の申請や家族関係の問題等、これらのほとんどが長期にわたる支援を必要としており、現在も継続中である。支援終了後は見守りや声掛けなど一人ではないということを伝え、地域でいつまでも安心して暮らし続けられるよう本人はもちろんのこと、各事業所の相談にも対応し支援してきた。

平成29年度からスタートした富津市が進める「富津市いきいき百歳体操」では、現在大佐和地区では16団体が自主運営として活動しており、今年度は全ての地域で活動し、閉じこもり防止や筋力低下を防ぐ活動ができた。今後も「いきいき百歳体操」が広まるように活動していきたいと考えている。

地域包括支援センターは介護保険サービス調整や高齢者の相談、相続、障害、生活の困窮等相談が多岐にわたるため、ケアマネジャーとの連携、関係機関との連携も重要であり、資質向上を行うことも重要課題の一つであると考えている。富津市ケアマネジャー協議会と協働でZoomを使用してオンライン研修会も実施しており、今後もZoomの利用や市役所担当部署や3地区の地域包括支援センターと検討し協力しながら活動を進めていきたい。

	総合相談								包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	ケアマネジメント業務 ----- 件数 *()委託件数
	介護保険の申請の相談	介護(予)給付に関する相談	総合事業に関する相談	虐待に関する相談	権利擁護に関する相談	成年後見制度に関する相談	その他	合計		
4月	10	8	0	0	0	0	21	39	1	108(29)
5月	8	12	0	0	0	0	14	34	1	105(27)
6月	10	13	0	0	1	0	30	54	0	102(29)
7月	5	20	0	0	0	0	14	39	0	102(28)
8月	5	18	0	0	0	1	17	41	0	104(29)
9月	14	15	0	0	0	2	13	44	0	108(31)
10月	7	17	0	0	0	0	20	44	0	111(31)
11月	5	20	0	0	0	0	8	33	0	113(32)
12月	6	22	0	0	0	0	17	45	0	112(33)
1月	8	18	0	0	0	1	11	38	0	109(33)
2月	6	13	0	0	0	0	13	32	0	109(31)
3月	9	5	2	0	0	1	16	33	2	106(30)
合計	93	181	2	0	1	5	194	476	4	1,289(363)
R3年度実績	73	127	5	4	1	3	161	374	5	1,324(310)

【その他の事業実績】

1 いきいき百歳体操教室

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| ①★弁天区集会所 | 48回実施(参加者258名) | ⑩中公民館 |
| ②★大貫ふれあいシニア館 | 43回実施(参加者285名) | ⑪八田沼集会場 |
| ③中央公民館 | | ⑫近藤区集会場 |
| ④憩いの里オーリーブ | | ⑬上公民館 |
| ⑤鶴岡区個人宅 | | ⑭絹青年館 |
| ⑥笹毛区公民館 | | ⑮一色・障子谷青年館 |
| ⑦西大和田青年館 | | ⑯船端集会場 |
| ⑧佐貫コミュニティセンター | | |
| ⑨鶴岡八幡神社参集所 | | |

★以外は自主運営。実施回数及び参加者数については、職員が広報支援で参加した数値。各団体毎週1回教室を開催。

- | | |
|------------------------|---------|
| 2 ケアマネジャー事例検討会 | 2回 19名 |
| 3 ケアマネジャー研修会 | 3回 180名 |
| 4 3地区包括支援センター主催研修会 | 1回 45名 |
| 5 認知症メモリーウォーク・千葉 in 富津 | 1回 一般市民 |
| 6 民生委員各相談 | 39件 |

(19) 生活困窮者自立支援事業及び被保護者就労支援事業

<事業概要>

- ・ 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方の相談窓口。
(生活困窮者自立支援事業)
- ・ 就労可能な被保護者で、個別支援を行うことで就労等が可能な被保護者への支援。
(被保護者就労支援事業)

<現状>

- ・ 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収や離職からの相談が多くあったが、令和4年度は減少傾向になってきている。
- ・ 60歳以上や障がい者の相談が増加傾向にある。
- ・ 就労支援のケースが多い。
- ・ 相談者と一緒に生活課題について考え自立を促すための支援のコーディネートに重点。

<効果>

- ・ 継続した支援を行い、生活の相談を受けたり、他機関等への同行支援を行い不安の解消を図ることができた。
- ・ 令和3年度は就労率が約18%であったが、令和4年度は約34%と就労率を上げることができた。

<今後の重点>

- ・ 就労するにあたり生活課題等を整える必要があるケースがある。
- ・ 相談者の就労支援はハローワーク等への同行支援、面接支援等、またハローワーク等と情報共有を図り支援を行う。
- ・ 65歳以上の相談者で生活環境の改善を図る必要がある場合は、状況によって地域包括支援センター等の関係機関と支援方法を検討する。
- ・ 障がい者の相談は、富津市にある障がい者を支援する「富津市基幹相談支援センターえこ」とケース検討、情報共有、役割分担を定例で行い支援を検討していく。

生活困窮者自立支援事業											
月	新規相談受付件数	相談経路 (重複有り)				支援方法 (延べ回数)			就労支援対象者数 (延べ数)	一般就労開始者数 (延べ数)	貸付申請者数 (延べ数)
		本人	家族・知人	関係機関等	その他	電話相談・連絡	訪問・同行支援	面談			
4	8	8	1	0	0	16	0	13	5	0	3
5	6	6	1	1	0	17	0	7	4	2	2
6	4	3	3	0	0	14	1	6	3	1	1
7	8	8	1	0	0	23	13	9	7	5	4
8	9	8	2	0	0	7	0	12	3	0	2
9	8	7	1	0	0	10	12	9	1	1	2
10	4	4	0	1	0	7	0	12	3	2	0
11	5	5	1	1	0	5	1	6	5	2	1
12	4	3	2	2	0	13	6	5	2	0	1
1	5	4	1	2	0	7	2	6	4	2	1
2	3	3	0	0	0	3	1	5	3	1	0
3	10	10	5	1	0	1	3	12	9	1	0
合計	74	69	18	8	0	123	39	102	49	17	17
R3 年度 実績	131	114	12	16	0	470	64	371	55	10	40

被保護者就労支援事業			
月	対象者数	訪問・電話 (延べ回数)	就労開始者数
4	16	22	0
5	16	34	0
6	16	42	0
7	16	30	1
8	16	30	0
9	17	43	0
10	17	43	0
11	17	31	0
12	17	37	0
1	17	27	0
2	18	39	0
3	19	37	0
合計	202	415	1
R3 年度 実績	225	478	4

<自立支援給付金事業実績>

月	初回		再支給	
	申請件数	決定件数	申請件数	決定件数
4	1	1	0	0
5	1	1	0	0
6	2	2	0	0
7	0	0	1	1
8	0	0	0	0
9	3	3	1	1
10	0	0	0	0
11	0	0	0	0
12	0	0	2	2
1	0	0	0	0
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
計	7	7	4	4

<住居確保給付金事業実績>

月	初回申請	決定	延長申請	決定	不決定	再延長申請	決定	再支給申請	決定
4	1	1	0	0	0	0	0	3	3
5	0	0	0	0	0	0	0	1	1
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	0	0	0	0	0	4	4

4 社会福祉協議会 会費・愛の募金・共同募金 過去推移

(単位：円)

<富津市社会福祉協議会会費>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般会費					
富津地区	2,775,300	2,714,200	2,678,900	2,646,800	2,590,500
大佐和地区	2,255,700	2,230,900	2,218,200	2,242,360	2,213,560
天羽地区	2,043,060	2,005,970	1,985,600	1,972,000	1,961,800
一般会費計	7,074,060	6,951,070	6,882,700	6,861,160	6,765,860
特別会費					
市職員	61,200	57,600	57,600	57,600	57,600
区市民特別会費	4,800	8,400	8,400	2,400	7,200
社協役員	0	0	0	0	18,000
特別会費計	66,000	66,000	66,000	60,000	82,800
法人会費	940,000	965,000	933,000	1,033,000	1,113,000
合計	8,080,060	7,982,070	7,881,700	7,954,160	7,961,660

<愛の募金>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地区社協名					
富津	229,251	223,424	243,879	271,772	322,509
青堀	386,294	376,312	403,580	393,063	458,720
飯野	260,091	272,901	309,859	287,791	360,644
富津地区合計	875,636	872,637	957,318	952,626	1,141,873
大貫	392,367	389,441	400,047	392,065	442,179
吉野	195,522	205,238	231,287	211,742	226,918
佐貫	268,221	251,119	256,790	243,919	257,633
大佐和地区合計	856,110	845,798	888,124	847,726	926,730
湊	220,430	204,077	240,062	241,519	264,058
天神山	141,940	142,238	153,620	155,634	173,040
竹岡	113,122	111,149	125,424	124,763	122,122
金谷	132,786	140,585	117,558	129,913	136,166
峰上	243,245	236,364	241,266	227,507	234,890
天羽地区合計	851,523	834,413	877,930	879,336	930,276
富津市全区合計	2,583,269	2,552,848	2,723,372	2,679,688	2,998,879
新富工場協議会	33,600	15,542	61,072	31,728	36,387
その他	2,783	21,542	68	0	824
合計	2,619,652	2,589,932	2,784,512	2,711,416	3,036,090

<赤い羽根共同募金>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
戸別募金	5,614,893	5,426,750	5,400,850	5,347,100	5,356,205
学校募金	108,040	91,513	65,793	93,340	67,305
職域募金	42,885	38,815	42,458	40,543	43,098
その他募金	115,000	113,201	121,015	118,500	145,258
個人募金	50,000	50,000	0	58,379	53,000
法人募金	541,761	531,666	482,850	510,090	454,275
合 計	6,472,579	6,251,945	6,112,966	6,167,952	6,119,141

<歳末たすけあい募金>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
戸別募金	4,555,955	4,504,244	4,434,050	4,419,955	4,385,180
職域募金	44,071	42,630	47,296	43,498	51,247
その他募金	9,254	0	12,295	0	0
法人募金	504,216	500,368	497,659	604,103	476,861
個人募金	0	0	0	0	2,950
合 計	5,113,496	5,047,242	4,991,300	5,067,556	4,916,238

新型コロナウイルス感染症罹患者に対する食料支援について

【令和4年度】

月	相談件数	支援件数	世帯人数		罹患者数		支援者総数	市内罹患者 総数
			大人	子供	大人	子供		
4	7	3	14	12	9	8	14	320
5	4	2	14	6	7	1	16	145
6	2	2	5	2	3	1	7	86
7	29	16	78	38	28	17	63	949
8	39	39	109	76	23	15	132	1,532
9	21	20	59	12	28	8	68	
10	5	5	18	3	9	3	21	
11	8	8	23	10	14	9	33	
12	22	20	66	14	34	11	74	
1	6	6	18	3	12	2	21	
2	0	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	0	
合計	143	121	404	176	167	75	449	3,032